福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	自治会長関係事業					事業コード	020101720139		
政策体系	基本政策	1 市民一人ひとりが、まちづくりの担い手となり、ほどよい力加減で助け合うまち			政策目標	1 協働・共創のまちづくり基盤の整備			
	施 策 名	1 地域組織や地域活動の活性化				施策コード	111		
事業担当	所属	020300 市民生活部まちづくり推進課			所属長	片岡 まり子			
会計情報	款	02総務費	項	01総務管理費	目	01一般管理費	会計	01 一般会計	決算附属資料	57	頁
計画期間	開始年度	昭和36年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	—			R8現在の状況	継続中	
根拠法令等	自治会長に対する事務委嘱要綱										
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）										
関連事業	—										

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 行政事務の円滑化を図るため、自治会長に対する事務委嘱要綱に基づき自治会長に事務を委嘱するとともに、自治会長の相談窓口としての機能を担う。また、市と地域が協働してまちづくりを推進していくために、自治会長会等を開催し、市の重点施策の共有や意見交換等を行っている。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 地域課題が複雑・多様化するなかで、自治会では人口減少や高齢化、地域コミュニティの希薄化などにより、担い手不足や負担感の増加などがあるなかで、持続可能な自治会としていくため、自治会の負担軽減について検討する必要がある。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） ・「風通しのよい市役所」の実現をめざし、地縁コミュニティである自治会と行政が相互連絡を行うことで地域での暮らしやすさを向上させる。 ・自治会長に対する事務委嘱要綱に基づき、自治会長に行政事務の一部を委嘱し、円滑な行政運営を実現する。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・行政事務の円滑化を図るため、自治会長に対する事務委嘱要綱に基づき、自治会長に行政事務の一部を委嘱し、円滑な行政運営を行う。 １ 委嘱事務 市広報紙等の配布、周知事項の連絡、各種募金の取扱い等、 ２ 自治会長運営委員会の開催（年2回）、 ３ 自治会長会の開催（年1回） ・地域（市民）と行政とのパイプを活用した「風通しのよい市役所」の実現をめざすことを目的として、自治会ごとに「地区担当職員」を配置する。 ・地縁団体（自治会）の認可申請等に関する事務を取り扱う。

対象者	自治会長	対象者数	325	単位あたりコスト	368.8	
実施方法	☑ 直接実施 ☑ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）					
委託先・実施主体等	京都ユニオンサービス（株）、（株）レントオール福知山、舞台照明CREW・SOLOOK					

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
報酬	102,055	令和7年度自治会長報酬			
報償費	1,434	永年勤続自治会長表彰記念品、自治会長運営委員及び連絡協議会委員報償費			
需用費	342	自治会文書送付に係る物品購入、福祉バス燃料費			
役務費	1,126	自治会長文書郵送・運搬料、タブレット端末通信料			
委託料	803	自治会長会音響設備設置業務・会場設営業務、福祉バス運転代行業務			
使用料及び賃借料	454	自治会長会及び自治会長運営委員会会場使用料、市役所来庁者駐車場定期券			

Ⅲ 予算執行状況

区 分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	112,718	106,735	106,646	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
小計（①～③）		112,718	106,735	106,646	
予算財源内訳	① 一般財源	112,706	106,723	106,629	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	12	12	17	
決算情報	① 流充用額	0	140		
	② 配当予算	112,718	106,875		
	③ 執行額	110,121	106,214		
	④ 執行率	97.7%	99.4%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	0.95 / 0.90	1.25 / 1.30	/	/
	② 概算人件費	10,120	13,640		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		120,241	119,854		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称		種類		実績金額		決算附属資料		頁
		地縁団体証明手数料		総務手数料		23		11	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	個	－	－	－	－		
	見直した委嘱事務の数	目標値		－	－	－	－	5	
		達成度	%	―	―	―	―	0%	
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	件	49	49	47	45		
	文書送達件数（各戸配布）	当初見込		55	55	50	45	40	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	負担軽減に係る検討会の開催								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること ・自治会長に対する事務委嘱要綱に基づき、広報の配布等の事務を委嘱し、市政の実施に協働で取り組んでいる。しかし、一方で、自治会役員のなり手不足が課題となっていることから、自治会長への事務の委嘱のあり方等について検討を進める必要があり、令和5年度は自治会長アンケートを実施し、令和6年度には40程度の自治会をピックアップして自治会長ヒアリングを行い、負担感等についての調査を行った。 ・アンケート調査では、市からの委嘱事務の負担感については、「市から依頼のある委員の選出（84.1%）」が特に多く、次いで「募金の集金（66.4%）」、「広報物の各戸配布（60.1%）」、という結果となっており、多くの自治会で負担と感じられていることがわかった。令和7年度はアンケート、ヒアリング結果をもとに自治会長への委嘱事務に関して負担軽減のための見直しができないか関係課へヒアリングや事務見直しの調整を行い、見直し案を作成した。 ・令和8年3月の自治会長運営委員連絡協議会、4月の自治会長運営委員会、5月の自治会長会で見直し案の説明を行った。6月から中学校区を基本として地区ごとに説明会を実施した。説明会での意見を取りまとめ、10月開催予定の秋季自治会長運営委員会で説明会の報告を行う。
現状の課題に対する改善策	・令和9年度に見直し後の新たな委嘱事務を施行することができるように、委嘱事務の見直し内容について自治会長へ説明を行っていく。 ・自治会に対し、運営の助けとなるハンドブックの作成や転入者等への自治会加入の勧奨など市として支援を行う。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	地域づくり組織支援事業						事業コード	020110720205		
政策体系	基本政策	1 市民一人ひとりが、まちづくりの担い手となり、ほどよい力加減で助け合うまち				政策目標	1 協働・共創のまちづくり基盤の整備			
	施 策 名	1 地域組織や地域活動の活性化					施策コード	111		
事業担当	所属	020300 市民生活部まちづくり推進課				所属長	片岡 まり子			
会計情報	款	02総務費	項	01総務管理費	目	10地域交流推進費	会計	01 一般会計	決算附属資料	83 頁
計画期間	開始年度	平成27年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	—			R8現在の状況	継続中
根拠法令等	福知山市自治基本条例、地域づくり組織支援事業交付金交付要綱									
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）									
関連事業	—									

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 ・従来の自治会や行政だけでは解決できない課題に柔軟に対応するため、地域のあらゆる人たちが協力して活動を展開していく「地域づくり組織」といった新たな市民主体の仕組みづくりが求められている。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ ・「地域づくり組織」の設立を目指している地域に対する支援 ・既に「地域づくり組織」の設立が完了している地域に対する伴走支援
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） ・一定のまとまりのある地域において、その地域の住民等により構成された包括的な自治組織である「地域づくり組織」の活動に対して、設立支援または継続支援を行うことによって、地域住民が地域のために活動し、暮らしやすい地域を自らの手で営んでいくことを通じて、地域の活性化を図る。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・市内にある6つの地域づくり組織に対し、「地域づくり組織支援事業交付金」を交付 ・新たに地域づくり組織の設立を検討している地域からの相談対応 ・近隣市（朝来市・丹波市）と連携し、地域づくりについて学ぶ「互近助サミット」の開催

対象者	市民	対象者数	73,400	単位あたりコスト	0.6	
実施方法	☐ 直接実施 ☑ 業務委託 ☐ 指定管理 ☑ 補助金交付 ☐ その他 （ ）					
委託先・実施主体等	三和地域協議会、夜久野みらいまちづくり協議会、大江まちづくり住民協議会、中六人部地域づくり協議会、上六人部地域づくり協議会、庵我まちづくり協議会、（社）朝来まちづくり機構					

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
報償費	60	地域づくり組織活動支援プロジェクト事業審査会謝礼・まちづくり講座謝礼			
旅費	9	職員旅費			
委託料	198	3市連携交流事業運営業務委託料			
負担金補助及び交付金	35,580	地域づくり組織支援事業交付金（6協議会）			

Ⅲ 予算執行状況

区 分			R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算		40,396	39,607	39,848	0
	② 補正予算		0	0	0	0
	③ 繰越予算		0	0	0	0
		前年度繰越	0	0	0	
		次年度繰越	0	0	0	0
小計（①～③）			40,396	39,607	39,848	
予算財源内訳	① 一般財源		896	0	0	
	② 国支出金		0	0	0	
	③ 府支出金		0	0	0	
	④ 地方債		0	0	0	
	⑤ その他特財		39,500	39,607	39,848	
決算情報	① 流充用額		0	△ 2,291		
	② 配当予算		40,396	37,316		
	③ 執行額		34,344	35,847		
	④ 執行率		85.0%	96.1%		
人概工算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）		1.35 / 0.00	1.10 / 0.00	/	/
	② 概算人件費		10,800	8,800		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）			45,144	44,647		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
	地域づくり組織支援事業基金繰入（地域振興基金）	基金繰入金	35,837	36	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	%	5	7	7	8		
	地域づくり組織が設立されている地域の市民が地域づくり組織の活動に参加した割合	目標値		5	6	7	8	10	
		達成度	%	100%	117%	100%	100%	0%	
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	回	202	205	237	259		
	部会・研修等開催回数	当初見込		140	140	140	140	140	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	地域づくり組織を対象にした講座や研修、交流会等を実施する。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	・設立支援や継続支援によって、６つの「地域づくり組織」が地域課題の解決や地域活性化のために活動できた。 ・現在、「地域づくり組織」の収入源が交付金に偏ってしまっている。 ・「地域づくり組織」が設立されている地域が一部に限られている。
現状の課題に対する改善策	・「地域づくり組織」が交付金以外から収入を得られるような事業の推奨を行っていく。 ・引き続き、「地域づくり組織」の設立を検討している地域への支援を行っていく。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	三和支所一般管理事業							事業コード	020101810437		
政策体系	基本政策	1 市民一人ひとりが、まちづくりの担い手となり、ほどよい力加減で助け合うまち				政策目標	1 協働・共創のまちづくり基盤の整備				
	施策名	1 地域組織や地域活動の活性化						施策コード	111		
事業担当	所属	020800 市民生活部三和支所				所属長	横田 貴裕				
会計情報	款	02総務費	項	01総務管理費	目	01一般管理費	会計	01 一般会計	決算附属資料	61	頁
計画期間	開始年度	平成17年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	—			R8現在の状況	継続中	
根拠法令等	—										
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☑ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）										
関連事業	三和支所施設管理事業										

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 ・平成18年1月1日、旧福知山市・旧三和町・旧夜久野町・旧大江町の市町村合併に伴い、住民サービスの低下を招かないよう、地域住民の身近な行政サービス窓口として支所が設置されたもの。 ・三和地域及び市東部周辺地域の行政サービス提供の拠点として、地域住民福祉の増進と利便性を確保するため支所機能を維持している。 ・「教育と福祉の拠点施設」として支所内に入所する各種組織・団体（図書館三和分館、社会福祉協議会、東部保健福祉センター、地域包括支援センター、放課後児童クラブ、老人クラブ連合会、シルバー人材センター、福知山市商工会等）との連携を強化し、情報の共有・発信を図る拠点施設として管理・運営を行っている。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ ・円滑な支所運営を行っていくため、さらなる事務の効率化とサービス向上等が必要。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） ・三和地域及び市東部周辺地域の行政サービス提供の拠点として、地域住民福祉の増進と利便性を確保する支所機能を維持するため。 ・三和地域及び近隣の住民に対するサービスの拠点施設である三和支所の文書管理、自治会業務等の運営管理を図る。 ・「教育と福祉の拠点施設」として支所内に入所する各種組織・団体との連携を強化し、情報の共有・発信を図る拠点施設として健全に管理・運営を行うため。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・三和支所における一般事務経費（事務用品、電話代、郵送料、コピー使用料等） ・三和地域協議会に自治会等連携・支援業務を委託（自治会長会運営、自治会長文書配布、無線放送録音）
対象者	三和支所利用者　　対象者数：27,000　　単位あたりコスト：2.4
実施方法	☑ 直接実施 ☑ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）
委託先・実施主体等	三和地域協議会

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
需用費	341	事務用品購入、災害用物品購入			
役務費	2,964	郵送料、電話代、三和地域地域情報伝達無線システムイーサネットVPN回線利用手数料			
委託料	1,100	三和地域自治会等連携・支援業務委託			
使用料及び賃借料	171	コピー機リース料、NHK受信料			
備品購入費	97	標準準拠システム用プリンタ			

Ⅲ 予算執行状況

区分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	4,884	4,959	4,623	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
小計（①～③）		4,884	4,959	4,623	
予算財源内訳	① 一般財源	4,824	4,899	4,593	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	60	60	30	
決算情報	① 流充用額	0	0		
	② 配当予算	4,884	4,959		
	③ 執行額	4,700	4,674		
	④ 執行率	96.2%	94.3%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	6.38 / 5.00	5.93 / 5.00	/	/
	② 概算人件費	65,040	61,440		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		69,740	66,114		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
	コピー代	雑入	16	43	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	人	15250	13642	27237	26056		
	三和支所利用者数	目標値		15000	15000	20000	20000	20000	
		達成度	%	102%	91%	136%	130%		
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	人	20	21	21	20		
	在勤職員数（宿日直職員を含む）	当初見込		20	20	20	20	20	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	三和地域の教育と福祉の拠点として、市民が気軽に訪れることができる施設にするため、入所団体の会議利用やイベント利用を積極的に受け入れる。また、入所団体間の連携のため、支所を中心に、情報提供・共有を進める。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	－	－	－	－	－		
	定性的な評価	目標値		－	－	－	－	－	
		達成度	%	－	－	－	－		
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	千円	11433	4629	4700	4674		
	支所管理経費	当初見込		10470	4898	4884	4959	5000	
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	適正で効果的・効率的な予算執行に努める。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	・支所機能を維持する上で、必要最低限の管理経費であり、今後も必要である。 ・三和荘を中心とした地域交流拠点整備とあわせ、福祉関係機関や図書館の支所への移転、集約など、支所を中心とした教育と福祉の拠点整備を令和5年度に完了した。引き続き、各関係団体との連携を強化し各施策の充実につなげていく。
現状の課題に対する改善策	・今後、さらに少子高齢化が進む中で、市東部地域の行政サービスの拠点施設としてしっかりと維持するとともに、庁舎に集約した各種団体等との連携強化を図り、情報の共有・発信力を高め住民福祉の向上につなげていく。 ・人口減少により地域活力が減衰していくなかで、支所として様々な課題に対応していくため、三和地域協議会や三和地域公民館、各種団体等と協働し、住民の日常生活を支えるとともに、地域交流の拠点としての三和荘と連携し、教育と福祉の充実、三和地域のコミュニティーの維持・醸成に取り組んでいく。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	三和支所施設管理事業							事業コード	020105810441		
政策体系	基本政策	1 市民一人ひとりが、まちづくりの担い手となり、ほどよい力加減で助け合うまち				政策目標	1 協働・共創のまちづくり基盤の整備				
	施策名	1 地域組織や地域活動の活性化						施策コード	111		
事業担当	所属	020800 市民生活部三和支所				所属長	横田 貴裕				
会計情報	款	02総務費	項	01総務管理費	目	05財産管理費	会計	01 一般会計	決算附属資料	65・66	頁
計画期間	開始年度	平成17年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	—			R8現在の状況	継続中	
根拠法令等	—										
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☑ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）										
関連事業	三和支所一般管理事業										

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 ・平成18年1月1日、旧福知山市・旧三和町・旧夜久野町・旧大江町の市町村合併に伴い、住民サービスの低下を招かないよう、地域住民の身近な行政サービス窓口として支所が設置されたもの。 ・三和地域及び市東部周辺地域の行政サービス提供の拠点として、地域住民福祉の増進と利便性を確保するため支所機能を維持している。 ・「教育と福祉の拠点施設」として支所内に入所する各種組織・団体（図書館三和分館、社会福祉協議会、東部保健福祉センター、地域包括支援センター、放課後児童クラブ、老人クラブ連合会、シルバー人材センター、福知山市商工会等）との連携を強化し、情報の共有・発信を図る拠点施設として管理・運営を行っている。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ ・住民サービス、教育と福祉の拠点である支所機能を維持・向上させるため、施設の老朽化に伴う長寿命化対策が必要である。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） ・三和地域及び市東部周辺地域の行政サービス提供の拠点として、地域住民福祉の増進と利便性を確保する支所機能を維持するため。 ・「教育と福祉の拠点施設」として支所内に入所する各種組織・団体との連携を強化し、情報の共有・発信を図る拠点施設として健全に管理・運営を行うため。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・三和支所所管施設の光熱水費や維持・修繕及び公用車両の維持管理に必要な経費 ・三和地域地域情報伝達無線システム（エリアトーク）の維持管理 ・菟原下定住促進住宅用地販売促進、住民の安心・安全を確保するため、重要かつ緊急に対処する必要があると支所長が判断する修繕及びお試し住宅みわ上川合住宅の維持管理

対象者	三和支所利用者数	対象者数	27,000	単位あたりコスト	1.1	
実施方法	☑ 直接実施 ☑ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）					
委託先・実施主体等	（社）福知山市シルバー人材センター、日本電設工業㈱、㈱西日本エスエスシー、三和建設工業㈱					

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
需用費	5,380	施設及び車検修繕料、電気料、上下水道料、燃料費			
役務費	549	建物総合及び自動車損害共済分担金、公用車整備手数料、自賠責保険料、ごみ廃棄手数料			
委託料	1,345	除草等清掃業務、除雪業務、無線アンテナ設置業務			
使用料及び賃借料	258	自動車賃借料			
負担金補助及び交付金	14	安全運転管理者講習参加負担金			

Ⅲ 予算執行状況

区分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	24,293	7,941	21,736	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
	小計（①～③）	24,293	7,941	21,736	
予算財源内訳	① 一般財源	12,859	7,048	6,973	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	10,200	0	14,000	
	⑤ その他特財	1,234	893	763	
決算情報	① 流充用額	0	0		
	② 配当予算	24,293	7,941		
	③ 執行額	24,044	7,546		
	④ 執行率	99.0%	95.0%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	0.42 / 6.04	0.53 / 6.09	/	/
	② 概算人件費	20,272	21,292		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		44,316	28,838		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
	三和支所使用料	総務使用料	169	7	
	お試し住宅使用料（三和支所）	総務使用料	120	7	
	電柱占用料（三和支所）	総務使用料	4	7	
	土地建物貸付収入（三和支所）	財産貸付収入	2	29	
	電柱類設置貸付収入（三和支所）	財産貸付収入	10	31	
	施設光熱水費ほか		303		

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	人	15,250	13,642	27,237	26,056		
	三和支所利用者数	目標値		15,000	15,000	20,000	20,000	20,000	
		達成度	%	102%	91%	136%	130%		
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	人	20	21	21	20		
	在勤職員数（宿日直職員を含む）	当初見込		20	20	20	20	20	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	三和地域の教育と福祉の拠点として、市民が気軽に訪れることができる施設にするため、入所団体の会議利用やイベント利用を積極的に受け入れる。また、入所団体間の連携のため、支所を中心に、情報提供・共有を進める。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	－	－	－	－	－		
	定性的な評価	目標値		－	－	－	－	－	
		達成度	%	－	－	－	－		
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	千円	69,903	103,203	24,044	7,546		
	支所管理経費	当初見込		135,321	35,000	24,293	7,941	25,000	
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	適正で効果的・効率的な予算執行に努める。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	・支所機能を維持する上で必要最低限の管理経費であり、今後も必要である。 ・三和荘を中心とした地域交流拠点整備とあわせ、福祉関係機関や図書館の支所への移転、集約など、支所を中心とした教育と福祉の拠点整備を令和5年度に完了した。引き続き、各関係団体との連携を強化し各施策の充実につなげていく。
現状の課題に対する改善策	・今後、さらに少子高齢化が進む中で、市東部地域の行政サービスの拠点施設としてしっかりと維持するとともに、庁舎に集約した各種団体等との連携強化を図り、情報の共有・発信力を高め住民福祉の向上につなげていく。 ・人口減少により地域活力が減衰していくなかで、支所として様々な課題に対応していくため、三和地域協議会や三和地域公民館、各種団体等と協働し、住民の日常生活を支えるとともに、地域交流の拠点としての三和荘と連携し、教育と福祉の充実、三和地域のコミュニティーの維持・醸成に取り組んでいく。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	三和荘等施設管理運営事業					事業コード	020110130207			
政策体系	基本政策	1 市民一人ひとりが、まちづくりの担い手となり、ほどよい力加減で助け合うまち			政策目標	1 協働・共創のまちづくり基盤の整備				
	施策名	1 地域組織や地域活動の活性化				施策コード	111			
事業担当	所属	020800 市民生活部三和支所			所属長	横田 貴裕				
会計情報	款	02総務費	項	01総務管理費	目	10地域交流推進費	会計	01 一般会計	決算附属資料	77・78 頁
計画期間	開始年度	平成17年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	—	R8現在の状況	継続中		
根拠法令等	—									
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）									
関連事業	三和地域交流拠点施設整備事業、三和地域活性化事業									

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 ・三和荘施設を地域交流の拠点施設として維持・継続していくため、また、利用者の利便性の向上及び安全確保を図る観点から、必要に応じ施設整備や修繕を行う必要がある。 ・三和荘改修工事が完了し、全ての施設が稼働する中、特にレストランや宿泊施設及びシャワー棟などにおいて、衛生面の管理を強化し、清掃等適切な維持管理体制を確保する必要がある。 ・市の直接管理で運営を行っていくうえで、いかに集客力を高めるために様々な工夫が必要となってくる。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 三和荘を地域交流の拠点施設として、今までより利用しやすく、また、気軽に訪れやすい施設とすること。 三和地域公民館とアネックス京都三和連携室及び三和地域協議会との調和を図り、より三和荘を地域交流の拠点とする。 民間事業者によるレストラン運営、宿泊施設の委託が適正に継続して行えるようにする。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 市の直接運営となった三和荘施設の維持管理に必要な業務委託や修繕等を実施し、地域交流の拠点施設として、地域振興、観光振興、地域住民の交流促進と福祉の増進に向けた施策を展開し、活力あるまちづくりにつなげるべく、適正な施設運営及び管理を行う。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 安定した持続可能な直接運営の実施 ・三和荘施設を市が直接運営、維持管理及び修繕等するために必要な一般事務経費（事務用品、電話代、郵送料、コピー使用料等）の支出 集客の増進 ・パンフレット、広告、ホームページ、SNS等様々な媒体を利用した広報活動 ・主催、共催及び後援によるイベントや企画の実施及び誘致活動

対象者	施設利用者	対象者数	101,000	単位あたりコスト	0.8	
実施方法	☑ 直接実施 ☑ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）					
委託先・実施主体等	㈱ファーストシステム、ライズビルサービス、舞台照明CREW・SOLOOK、㈱ダスキンクラウン、㈱石丸浄水センター、コンビウィズ㈱、㈱伊藤・梅原建築設計事務所、姫路ナブコ㈱、伊東木材㈱、三和建設工業㈱					

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
報償費	38	三和荘職員対象接遇研修講師謝礼	公課費	38	自動車重量税
需用費	17,144	三和荘用品購入、三和荘光熱水費、三和荘施設修繕料、車検修繕料			
役務費	1,383	損害共済基金分担金、地下タンク埋設配管漏えい定期検査、電話代、郵便料金			
委託料	22,431	三和荘宿泊施設管理業務他			
使用料及び賃借料	1,175	デジタル複合機賃貸借、三和荘電話交換機設備装置等賃貸借、土地賃貸借（排水路）他			
備品購入費	2,291	アーチェリーネット購入ほか			

Ⅲ 予算執行状況

区分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	55,914	49,803	46,155	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
小計（①～③）		55,914	49,803	46,155	
予算財源内訳	① 一般財源	33,535	23,894	23,564	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	0	1,400	0	
	⑤ その他特財	22,379	24,509	22,591	
決算情報	① 流充用額	△ 1,035	△ 1,950		
	② 配当予算	54,879	47,853		
	③ 執行額	47,956	44,500		
	④ 執行率	87.4%	93.0%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	1.81 / 8.23	1.88 / 8.23	/	/
	② 概算人件費	37,524	38,084		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		85,480	82,584		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
	三和荘及び関連施設使用料	総務使用料	16,099	7	
	自動販売機設置貸付収入（三和支所）	財産貸付収入	89	31	
	三和荘等施設管理運営事業基金繰入（過疎地域持続的発展基金）	基金繰入金	1,554	37	
	三和荘等施設管理運営事業（過疎対策）	総務債	1,400	49	
	三和荘宿泊施設（施設光熱水費）	雑入	260	42	
	三和荘レストラン（施設光熱水費）ほか		1,035		

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	人	25,390	19,714	90,579	78,774		
	三和荘施設利用者数	目標値		60,000	15,000	101,000	101,000	101,000	
		達成度	%	42%	131%	90%	78%	0%	
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	回	0	0	10	10		
	三和荘主催、共催または後援のイベント数	当初見込		0	0	9	9	9	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	・三和地域及び周辺地域の住民を対象とした三和荘（市）主催のイベントの実施 ・三和地域公民館、三和地域協議会、アネックス京都三和連携室等と連携（共催・後援）しイベントや企画を実施 ・三和荘でのイベント誘致								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	・三和荘施設を地域交流の拠点施設として維持・継続していくため、また、使用者の利便性の向上及び安全確保を図る観点から、必要に応じ施設整備や修繕を行う必要がある。特にレストランや宿泊施設及びシャワー棟等において、衛生面の管理を強化し、清掃等適切な維持管理体制を確保する必要がある。 ・市の直接管理で運営を行っていくうえで、いかに集客を行い施設利用を促進するか様々な工夫が必要となってくる。
現状の課題に対する改善策	・三和荘施設を地域交流の拠点施設として維持・継続していくため、必要な施設整備や修繕を行い、利用者の満足度の向上を図る。 ・三和地域公民館、三和地域協議会、アネックス京都三和連携室や、福祉関連組織等が行う既存イベント等とも連携しながら、三和荘も様々なイベント等の企画を立案・実施することで、使用者の満足度の向上と集客の増進及び広報を図る。 ・施設使用者からのニーズを把握しながら、集客につながる企画の立案や実施に向けた設備や物品を整備し利用者の満足度の向上を図る。 ・地域住民代表組織である三和荘活用推進協議会と協議を行い、官民連携のなか様々な課題を解決し、持続可能な運営を行う。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	下夜久野地区財産区管理経費						事業コード	010101210146		
政策体系	基本政策	1 市民一人ひとりが、まちづくりの担い手となり、ほどよい力加減で助け合うまち			政策目標	1 協働・共創のまちづくり基盤の整備				
	施 策 名	1 地域組織や地域活動の活性化					施策コード	111		
事業担当	所属	020900 市民生活部夜久野支所			所属長	衣川 綱志				
会計情報	款	01総務費	項	01総務管理費	目	01一般管理費	会計	18 下夜久野	決算附属資料	258・259 頁
計画期間	開始年度	平成18年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	—			R8現在の状況	継続中
根拠法令等	地方自治法福知山市下夜久野地区財産区管理会条例福知山市下夜久野地区財産区管理会特別会計条例福知山市下夜久野地区財産区財政調整基金条例									
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）									
関連事業	—									

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 昭和30年代の町村合併に、旧村単位で保有していた財産をそれぞれの地域で管理するために設置された。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 保有する財産の大半が山林であるが、その管理が課題となっている。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 地域組織の活性化のため、福知山市下夜久野地区財産区管理会条例に基づき、財産の保全管理並びに基金の管理を図る。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 福知山市下夜久野地区財産区有林の保全管理を実施 ・令和7年度、福知山市下夜久野地区財産区管理会を2回（7月・2月）実施

対象者	下夜久野地区住民	対象者数	1,068	単位あたりコスト	2.3	
実施方法	☑ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）					
委託先・実施主体等	福知山市下夜久野地区財産区管理会					

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
報酬	36	管理会委員報酬			
負担金補助及び交付金	4	金尾地区林道整備管理負担金			
積立金	8	基金利子積立金			

Ⅲ 予算執行状況

区 分			R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算		135	135	140	0
	② 補正予算		0	6	0	0
	③ 繰越予算		0	0	0	0
		前年度繰越	0	0	0	
		次年度繰越	0	0	0	0
	小計（①～③）		135	141	140	
予算財源内訳	① 一般財源		0	0	0	
	② 国支出金		0	0	0	
	③ 府支出金		0	0	0	
	④ 地方債		0	0	0	
	⑤ その他特財		135	141	140	
決算情報	① 流充用額		0	0		
	② 配当予算		135	141		
	③ 執行額		44	48		
	④ 執行率		32.6%	34.0%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）		0.22 / 0.05	0.29 / 0.05	/	/
	② 概算人件費		1,900	2,460		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）			1,944	2,508		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
	下夜久野地区財産区財政調整基金繰入金	下夜久野地区財産区財政調整基金繰入金	40	258	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	―	―	―	―	―		
	【定性的評価】	目標値		―	―	―	―	―	
		達成度	%	―	―	―	―		
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	回	2	2	2	2		
	福知山市下夜久野地区管理会開催回数	当初見込		4	4	4	4	4	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	地域組織の活性化のため、福知山市下夜久野地区財産区管理会条例に基づき、財産の保全管理並びに基金の管理を図る。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること 福知山市下夜久野地区財産区については、旧村合併の際に設置された特別地方公共団体であり、適正な管理が必要である。 財産である木材価格が低迷する中、近年は基金を取り崩す一方となっており、基金が枯渇する前に対象地区住民と課題を共有し、今後の方向性を遠くない時期に結論づける必要がある。 不測の事態に備えて予算では一定額を計上しているが、枯渇している基金の減少を最小限に抑えるため、必要最小限予算執行を行っている。
現状の課題に対する改善策	特別地方公共団体である財産区の今後の方向性について計画的に検討を進める。 必要最小限の予算執行を行い、基金の取り崩しを極力抑えられるよう執行している。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	夜久野支所一般管理事業						事業コード	020101810443		
政策体系	基本政策	1 市民一人ひとりが、まちづくりの担い手となり、ほどよい力加減で助け合うまち			政策目標	1 協働・共創のまちづくり基盤の整備				
	施策名	1 地域組織や地域活動の活性化					施策コード	111		
事業担当	所属	020900 市民生活部夜久野支所			所属長	衣川 綱志				
会計情報	款	02総務費	項	01総務管理費	目	01一般管理費	会計	01 一般会計	決算附属資料	61・62 頁
計画期間	開始年度	平成18年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	—			R8現在の状況	継続中
根拠法令等	福知山市支所設置条例、地方自治法									
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）									
関連事業	夜久野支所施設管理事業									

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 平成18年1月1日、旧福知山市・旧三和町・旧夜久野町・旧大江町の市町村合併に伴い、住民サービスの低下を招かないよう、地域住民の身近な行政サービス窓口として支所が設置されたもの。 夜久野地域及び市西部周辺地域の行政サービス提供の拠点として、地域住民福祉の増進と利便性を確保するため支所機能を維持している。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ ・円滑な支所運営を行っていくため、さらなる事務の効率化とサービス向上等が必要。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） ・夜久野地域及び市西部周辺地域の行政サービス提供の拠点として、地域住民福祉の増進と利便性を確保する支所機能を維持するため。 ・夜久野地域及び近隣の住民に対するサービスの拠点施設である夜久野支所の文書管理、自治会業務等の運営管理を図る。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・夜久野支所における一般事務経費（事務用品、電話代、郵送料、コピー使用料等）。

対象者	夜久野支所利用者	対象者数	11,000	単位あたりコスト	1.8
実施方法	☑ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）				
委託先・実施主体等	—				

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
需用費	205	事務用品			
役務費	465	電話代、郵送料ほか			
使用料及び賃借料	1,226	デジタル複合機賃借料、電話交換器設備装置等賃借料、NHK受信料			
備品購入費	97	システム用プリンター及び付属品			
負担金補助及び交付金	31	防災行政無線電波利用負担金			

Ⅲ 予算執行状況

区分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	1,637	2,043	1,816	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
	小計（①～③）	1,637	2,043	1,816	
予算財源内訳	① 一般財源	1,634	2,040	1,813	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	3	3	3	
決算情報	① 流充用額	0	0		
	② 配当予算	1,637	2,043		
	③ 執行額	1,275	2,025		
	④ 執行率	77.9%	99.1%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	0.34 / 4.65	0.55 / 4.70	/	/
	② 概算人件費	15,740	17,560		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		17,015	19,585		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
	コピー代（夜久野支所）	雑入	3	43	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	人	10,507	10,360	8,206	10,488		
	夜久野支所利用者数	目標値		13,000	11,000	11,000	11,000	11,000	
		達成度	%	81%	94%	75%	95%	0%	
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	人	13	13	13	14		
	在勤者数	当初見込		15	15	15	15	15	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	地域組織・地域活動の拠点施設である夜久野ふれあいプラザ内にある夜久野支所における住民福祉の向上と利便性を確保するため、支所機能を維持し、円滑に管理・運営する。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	支所機能を維持する上で必要最小限の経費であり、現在の事業規模で継続的に実施する。
現状の課題に対する改善策	夜久野支所は、旧町域の住民が利用する施設というイメージが強く、合併以降は旧町の住民が主に訪れる施設であったが、近年徐々に近隣の旧福知山市地域の住民も訪れるようになり、西部地域のサービス拠点として期待されることから、継続して管理運営を行なう。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	夜久野支所施設管理事業					事業コード	020105810447			
政策体系	基本政策	1 市民一人ひとりが、まちづくりの担い手となり、ほどよい力加減で助け合うまち			政策目標	1 協働・共創のまちづくり基盤の整備				
	施策名	1 地域組織や地域活動の活性化				施策コード	111			
事業担当	所属	020900 市民生活部夜久野支所			所属長	衣川 綱志				
会計情報	款	02総務費	項	01総務管理費	目	05財産管理費	会計	01 一般会計	決算附属資料	66 頁
計画期間	開始年度	平成18年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	—	R8現在の状況	継続中		
根拠法令等	福知山市支所設置条例、地方自治法									
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）									
関連事業	夜久野支所一般管理事業、夜久野町生涯学習センター維持管理事業									

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 平成18年1月1日、旧福知山市・旧三和町・旧夜久野町・旧大江町の市町村合併に伴い、住民サービスの低下を招かないよう、地域住民の身近な行政サービス窓口として支所が設置されたもの。夜久野地域及び市西部周辺地域の行政サービス提供の拠点として、地域住民福祉の増進と利便性を確保するため支所機能を維持し、その支所業務を円滑に実施するための庁舎管理・公用車管理等を行う事業。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 住民サービス、地域振興の拠点である支所機能を維持・向上させるため、時代に即して求められる施設・設備の更新や機能の向上が必要である。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 夜久野地域及び市西部周辺地域の行政サービス拠点施設である夜久野支所の適切な維持管理を行い、住民福祉の増進と利便性を確保する。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・夜久野支所並びに所管施設を適切に管理するため、各設備の法定点検や日常清掃等を行っている。また、所管する公用車の管理を行っている。 ・施設清掃業務 ・公用車4台保有 ・夜久野ふれあいプラザ光熱水費（11月分～3月分を支所負担、他の月は生涯学習課負担） ※令和7年度から「大江支所きめ細かな安心安全事業」を統合。

対象者	夜久野支所等利用者	対象者数	11,000	単位あたりコスト	1.9	
実施方法	☑ 直接実施 ☑ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）					
委託先・実施主体等	公益社団法人福知山市シルバー人材センター、㈱夜久林業					

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績(R7)	主な業務内容	費目	実績(R7)	主な業務内容
需用費	3,671	施設電気料・水道使用料、公用車ガソリン代、施設管理用品ほか			
役務費	158	建物共済分担金、公用車損害保険料、公用車法定点検手数料、ごみ廃棄手数料ほか			
委託料	888	夜久野支所日常清掃業務委託料、市有地支障木伐採業務委託料			
使用料及び賃借料	443	公用車（軽バン、軽トラック）賃借料ほか			
工事請負費	1,711	夜久野支所掲揚柱設置工事			

Ⅲ 予算執行状況

区分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	13,670	6,939	5,661	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
小計（①～③）		13,670	6,939	5,661	
予算財源内訳	① 一般財源	8,162	6,831	5,087	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	5,400	0	0	
	⑤ その他特財	108	108	574	
決算情報	① 流充用額	0	△ 67		
	② 配当予算	13,670	6,872		
	③ 執行額	11,748	6,870		
	④ 執行率	85.9%	100.0%		
人件概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	0.59 / 2.10	0.90 / 2.25	/	/
	② 概算人件費	10,600	13,500		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		22,348	20,370		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
	電柱占用料（夜久野支所）	総務使用料	8	7	
	土地貸付収入（夜久野支所）	財産貸付収入	18	29	
	金属くず（夜久野支所）	物品売払収入	47	32	
	自動車損害共済返戻金	雑入	9	47	
	公用車売却	財産売払収入	22	32	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	人	10,507	10,360	8,206	10,488		
	夜久野支所利用者数	目標値		13,000	11,000	11,000	11,000	11,000	
		達成度	%	81%	94%	75%	95%	0%	
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	人	13	13	13	14		
	在勤者数	当初見込		15	15	15	15	15	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	地域組織・地域活動の拠点施設である夜久野ふれあいプラザ内にある夜久野支所を、適正に管理・運営する。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	支所機能を維持する上で必要最小限の経費であり、現在の事業規模で継続的に実施する。
現状の課題に対する改善策	夜久野支所は、旧町域の住民が利用する施設というイメージが強く、合併以降は旧町の住民が主に訪れる施設であったが、近年徐々に近隣の旧福知山市地域の住民も訪れるようになり、西部地域のサービス拠点として期待されることから、継続して管理運営を行う。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	夜久野支所地域支援事業						事業コード	020110220306		
政策体系	基本政策	1 市民一人ひとりが、まちづくりの担い手となり、ほどよい力加減で助け合うまち			政策目標	1 協働・共創のまちづくり基盤の整備				
	施策名	1 地域組織や地域活動の活性化					施策コード	111		
事業担当	所属	020900 市民生活部夜久野支所			所属長	衣川 綱志				
会計情報	款	02総務費	項	01総務管理費	目	10地域交流推進費	会計	01 一般会計	決算附属資料	79 頁
計画期間	開始年度	昭和60年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	—			R8現在の状況	継続中
根拠法令等	夜久野高原・道の駅支援事業「やくの高原まつり」補助金交付要綱、夜久野農林商工祭補助金交付要綱									
事業区分	☐ 法定受託事務 ☑ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）									
関連事業	農匠の郷やくの施設管理運営事業									

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 令和3年度から道の駅の多くの施設が休館し、ドライブインやくのも閉館する中、京都府唯一の火山である宝山によって形成された風光明媚で史跡にも恵まれた夜久野高原全体を活用した賑わいづくりをめざし、令和6年度に「やくの高原活性化検討会」において再構築方針が取りまとめられた。令和7年度から「額田ダシまつり補助事業」「やくの高原・道の駅支援事業」を統合。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ イベントによる一時的な集客はあるが、年間を通じての道の駅への集客につなげる必要があることから、令和6年度にとりまとめられた夜久野高原の再構築方針の実現と連携した取り組みが必要。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 京都府唯一の火山である宝山によって形成された溶岩台地で、風光明媚で史跡にも恵まれている夜久野高原を、道の駅「農匠の郷やくの」を含めて地域内外へ発信することにより、観光地としての集客を図るとともに住民交流を促進する。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 地域交流の拠点施設でもある道の駅「農匠の郷やくの」や、夜久野高原を地域内外へ発信することにつながる各イベント等を実施する団体に対して補助金を交付し支援する。（やくの高原まつり、夜久野農林商工祭） また、額田のダシ行事を継承・創造する団体に対して補助金を交付し支援する。（額田ダシ振興会及び額田区自治会長会）

対象者	観光客及び市民	対象者数	123,275	単位あたりコスト	0.1
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☑ 補助金交付 ☐ その他 （ ）				
委託先・実施主体等	やくの高原まつり実行委員会・夜久野農林商工祭実行委員会・額田ダシ振興会、額田区自治会長会				

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
負担金補助及び交付金	871	「やくの高原まつり」、「夜久野農林商工祭」、「額田ダシまつり」への補助金			

Ⅲ 予算執行状況

区分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	648	871	871	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
小計（①～③）		648	871	871	
予算財源内訳	① 一般財源	0	547	547	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	324	324	324	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	324	0	0	
決算情報	① 流充用額	0	0		
	② 配当予算	648	871		
	③ 執行額	634	871		
	④ 執行率	97.8%	100.0%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	0.52 / 0.30	0.90 / 0.45	/	/
	② 概算人件費	5,000	8,460		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		5,634	9,331		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
	夜久野支所地域支援事業（きょうと地域連携交付金）	総務費府補助金	232	21	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	人	2,000	16,000	8,000	5,800		
	やくの高原まつり来場者数	目標値		16,000	16,000	16,000	16,000	16,000	
		達成度	%	13%	100%	50%	36%	0%	
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	千円	548	548	548	548		
	やくの高原まつり補助額	当初見込		548	548	548	548	548	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	地域の活性化につながる活動を行う団体への補助								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	それぞれのイベントが従来の規模での開催となり、一定の集客があったが、悪天候となったことから来場者数が減少した。 一時的なものであるが、イベント開催を通じて夜久野高原や道の駅「農匠の郷やくの」のPRもできており一定の成果を上げている。 また、地元団体等への支援を通して、京都府無形民俗文化財に登録されている「額田のダシ行事」を今後も継承していくため一定の成果を上げている。
現状の課題に対する改善策	イベントの継続については関係団体と協議しながら、夜久野高原や道の駅「農匠の郷やくの」のにぎわいの創出、PRに向けて観光地としての集客や住民の交流促進につながるイベントとするため、来場者数を目標値に達成させるため広報等の強化に努める。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	大江支所一般管理事業						事業コード	020101810450		
政策体系	基本政策	1 市民一人ひとりが、まちづくりの担い手となり、ほどよい力加減で助け合うまち			政策目標	1 協働・共創のまちづくり基盤の整備				
	施策名	1 地域組織や地域活動の活性化					施策コード	111		
事業担当	所属	021000 市民生活部大江支所			所属長	岸本 範義				
会計情報	款	02総務費	項	01総務管理費	目	01一般管理費	会計	01 一般会計	決算附属資料	62 頁
計画期間	開始年度	平成17年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	—			R8現在の状況	継続中
根拠法令等	—									
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☑ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）									
関連事業	—									

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 平成18年1月1日、旧福知山市・旧三和町・旧夜久野町・旧大江町の市町村合併に伴い、住民サービスの低下を招かないよう、地域住民の身近な行政サービス窓口として支所が設置されたもの。大江地域及び市北部地域の行政サービス提供の拠点として、地域住民福祉の増進と利便性を確保するため支所機能を維持し、その支所業務を円滑に実施するための事業。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 円滑な支所運営を行っていくため、さらなるサービス向上と事務効率化が必要。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） ・大江地域及び市北部周辺地域の行政サービス提供の拠点として、地域住民福祉の増進と利便性を確保するため支所機能を維持するため。 ・大江地域及び近隣の住民に対するサービスの拠点施設である大江支所の文書管理、自治会業務等の運営管理を図る。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 支所所管の以下の主要業務を推進するための事務経費。 ・大江地域の44自治会並びに自治会長会、さらには大江まちづくり住民協議会をはじめ各種地域団体・組織との総合調整。 ・大江地域の防災拠点として、住民並びに防災組織（消防団、6防災支部）に対し平時の防災啓発活動及び非常時における緊急防災対応。 ・大江地域並びに主に市北部に在住する市民を対象とした各種行政窓口サービスの提供。

対象者	大江支所利用者	対象者数	13,631	単位あたりコスト	2.1	
実施方法	☑ 直接実施 ☑ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）					
委託先・実施主体等	大江まちづくり住民協議会					

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績(R7)	主な業務内容	費目	実績(R7)	主な業務内容
旅費	7	普通旅費	負担金補助及び交付金	5	研修等参加負担金（安全運転管理者講習）
需用費	427	消耗品費（事務用品等） 印刷製本費（納入通知書用紙等）			
役務費	417	通信運搬費（電話料金 郵送料）			
委託料	422	委託料（住民協議会 自治会文書配達、自治会関係会議案内作成）			
使用料及び賃借料	526	複写機使用料（複写機） その他機器借上料（NHK受信料）、駐車料・高速道路等通行料			
備品購入費	97	標準準拠システム用プリンタ、トレイモジュール			

Ⅲ 予算執行状況

区分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	2,090	2,015	1,695	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
	小計（①～③）	2,090	2,015	1,695	
予算財源内訳	① 一般財源	2,088	2,013	1,693	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	2	2	2	
決算情報	① 流充用額	0	0		
	② 配当予算	2,090	2,015		
	③ 執行額	1,985	1,903		
	④ 執行率	95.0%	94.4%		
人件概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	2.03 / 3.15	2.29 / 3.13	/	/
	② 概算人件費	25,060	27,084		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		27,045	28,987		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
	大江支所（コピー代）	雑入	1	43	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	人	11,779	12,695	14,349	13,631		
	大江支所利用者数	目標値		15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	
		達成度	%	79%	85%	96%	91%	0%	
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	人	9	8	8	7		
	在勤職員数（正職）	当初見込		9	9	9	9	9	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	地域組織・地域活動の拠点施設である大江支所における住民福祉の向上と利便性を確保するため、支所機能を維持し、円滑に管理・運営する。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	件	193	190	218	212		
	自治会要望受付・対応件数	目標値		193	190	218	212	－	
		達成度	%	100%	100%	100%	100%		
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	千円	7,707	2,164	1,985	1,903		
	支所管理経費	当初見込		8,449	2,106	2,090	2,015	―	
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	支所が所管する幅広い分野にまたがる事務事業を的確に処理するとともに、地域自治会からの行政要望にきめ細かく対応し、住民福祉の向上を図る。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること 地域の人口減少が加速度的に進むなか、住民ニーズや困りごとの複雑・多様化、災害対応の高度化、鬼をはじめ地域資源を活かした地域創生策など、地域住民が支所に寄せる期待は高い。こうしたなか厳しい財政・組織状況にあって最小限の人員・経費で支所運営を行っている。 業務の効率化とサービスの質的向上を両立させるには、①職員が能力を発揮できる環境整備　②ペーパレスをはじめDXの推進　③自治会やまちづくり住民協議会をはじめ地域住民との一層の協働促進　以上の三点を実質化することが必要である。
現状の課題に対する改善策	前述した3つの課題に対しそれぞれ以下のアプローチを行った。 ①環境整備 ・隣接する大江町総合会館、北部保健福祉センター、鬼瓦公園をR8より支所管理とすることで人的配置の効率化、業務改善を図る体制を整えた。 ・従来１階と2階に分散配置していた支所の執務スペースをすべて１階に集約し市民の利便性向上と業務連携の円滑化を果たした。（R7.11月） ・職員のリスキリング研修、業務改善提案、管外視察など研修・研鑽機会を積極的に確保した。 ②DX推進 ・長年継続してきた本庁・支所間の定期連絡便を従来の週5便から週3便に変更し、ペーパレス化と人的資源の再配置を行った。（R8より） ・公用ノートパソコンを積極活用し、会議、議会準備、住民説明会などでのペーパレス化を徹底して推進した。 ・Instagramの導入（R7.6月）、住民向けLINE配信サービスの導入（R8.4月） ③住民協働 ・自治会要望へのきめ細かな対応によるインフラ整備促進 ・まちづくり住民協議会の常任委員会、各部会への定例参加を通じての施策立案と共同実施の推進（和紙伝承館、鬼瓦公園の改革など）

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	大江支所施設管理事業							事業コード	020105810454	
政策体系	基本政策	1 市民一人ひとりが、まちづくりの担い手となり、ほどよい力加減で助け合うまち				政策目標	1 協働・共創のまちづくり基盤の整備			
	施策名	1 地域組織や地域活動の活性化						施策コード	111	
事業担当	所属	021000 市民生活部大江支所				所属長	岸本 範義			
会計情報	款	02総務費	項	01総務管理費	目	05財産管理費	会計	01 一般会計	決算附属資料	66 頁
計画期間	開始年度	平成17年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	—			R8現在の状況	継続中
根拠法令等	—									
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☑ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）									
関連事業	—									

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 平成18年1月1日、旧福知山市・旧三和町・旧夜久野町・旧大江町の市町村合併に伴い、住民サービスの低下を招かないよう、地域住民の身近な行政サービス窓口として支所が設置されたもの。大江地域及び市北部地域の行政サービス提供の拠点として、地域住民福祉の増進と利便性を確保するため支所機能を維持し、その支所業務を円滑に実施するための庁舎管理・公用車管理等を行う事業。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 住民サービス、防災、地域振興の拠点である支所機能を維持・向上させるため、施設・設備の老朽化への対応や時代に即して求められる機能の向上が必要である。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 大江地域及び市北部地域の行政サービス拠点施設である大江支所の適切な維持管理を行い、住民福祉の増進と利便性を確保する。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・大江支所並びに所管施設を適切に管理するため、各設備の法定点検や日常清掃等を行っている。また、所管する公用車の管理を行っている。 （主な所管施設：旧俊明多目的集会所（R6.8から貸付）、電気自動車用急速充電設備） ・大江支所長寿命化のため、外壁タイル改修工事を実施（複数年度事業）

対象者	大江支所等の利用者	対象者数	13,631	単位あたりコスト	2.9	
実施方法	☑ 直接実施 ☑ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）					
委託先・実施主体等	(株)今井工務店、(社)福知山市シルバー人材センター、オリックスファシリティーズ(株)、オカモトデンキ（株）					

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
需用費	6,356	消耗品費（事務用品等） 燃料費（ガソリン等） 光熱水費（電気料、上下水道料） 修繕料（公用車、備品等）			
役務費	185	手数料（浄化槽法定検査、ごみ廃棄） 保険料（建物・自動車共済分担金等）			
委託料	1,514	施設清掃業務、施設維持管理業務、業務委託（複合機入替え、電話機配線）			
使用料及び賃借料	2,831	公用車等賃借料、電話交換機賃借料			
工事請負費	18,694	外壁タイル改修工事			
備品購入費	73	ミストファン			

Ⅲ 予算執行状況

区分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	32,933	29,558	24,829	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
	小計（①～③）	32,933	29,558	24,829	
予算財源内訳	① 一般財源	10,363	3,702	8,984	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	15,000	18,600	13,000	
	⑤ その他特財	7,570	7,350	2,845	
決算情報	① 流充用額	0	94		
	② 配当予算	32,933	29,652		
	③ 執行額	31,521	29,652		
	④ 執行率	95.7%	100.0%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	0.62 / 1.71	0.65 / 1.72	/	/
	② 概算人件費	9,748	10,016		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		41,269	39,668		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
	電柱等敷地占用料	総務使用料	82	7	
	大江支所使用料（税機構・社会福祉協議会）	総務使用料	942	7	
	土地建物貸付収入（大江支所）	財産貸付収入	159	30	
	大江支所施設管理事業基金繰入（公共施設等総合管理基金）	基金繰入金	93	37	
	京都地方税機構事務所経費負担金	雑入	1,216	47	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	人	11,779	12,695	14,349	13,631		
	支所利用者数	目標値		15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	
		達成度	%	79%	85%	96%	91%		
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	千円	21,227	12,253	31,521	29,652		
	支所管理経費	当初見込		23,059	14,661	32,933	29,558	87,848	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	地域住民福祉の増進と利便性を確保するため支所機能を維持し、その支所業務を円滑に実施するための庁舎管理・公用車管理等を行う。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	件	3,262	3,326	2,935	2,733		
	支所窓口での各種申請受付・処理件数	目標値		3,262	3,326	2,935	—	—	
		達成度	%	100%	100%	100%	—		
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	千円	－	－	19,000	18,694		
	支所改修費	当初見込		－	－	20,000	17,500	—	
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	老朽化が進む大江支所の長寿命化を図るため適切なメンテナンスを実施する。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること 令和7年度より福知山市公共施設等包括管理業務が導入され、各設備を専門家の視点で効率的に管理できる体制が整えられた。これより支所における施設管理の役割はメンテナンスからビジョンづくりへと重心がシフトした。 大江地域の中心エリアである支所周辺には、大江支所（S62年竣工）、総合会館（S62年竣工）、北部保健福祉センター（H8年竣工）、鬼瓦公園（H2年竣工）、丹鉄大江駅があり商工会、地域振興社、河守公民館が入居する大江町地域振興センター（S63年竣工）など、行政、交通、産業、文化、教育など様々な機能が集積している。今後の一層の人口減少を見据えても当エリアの重要性は極めて高い一方で、それぞれの施設は整備後30年以上が経過し老朽化が著しい。本来の機能を適切に発揮できるための適切な維持管理と同時に、時代に即した新たな視点での各施設の利活用が必要である。
現状の課題に対する改善策	支所周辺の拠点施設はいずれ同時期に整備され、過去複数回の浸水被害もあり、一律に老朽化が著しい。 大江支所の老朽化更新工事を計画的に実施　（R6：屋上防水改修工事、R7：外壁タイル改修工事）しているが、今後は支所を含めエリア内施設を俯瞰し、住民ニーズに照らして優先順位を明確にしたうえで、人口減少下にあっても持続可能な施設運営を目指した改修計画を立案していく。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	広報ふくちやま発行事業					事業コード	020102820106		
政策体系	基本政策	1 市民一人ひとりが、まちづくりの担い手となり、ほどよい力加減で助け合うまち			政策目標	1 協働・共創のまちづくり基盤の整備			
	施策名	1 地域組織や地域活動の活性化				施策コード	111		
事業担当	所属	030200 市長公室秘書広報課			所属長	小林 智恵美			
会計情報	款	02総務費	項	01総務管理費	目	02文書広報費	会計	01 一般会計	決算附属資料 63 頁
計画期間	開始年度	昭和63年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	—	R8現在の状況	他事業を統合	
根拠法令等	—								
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）								
関連事業	—								

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 広報ふくちやまは、市政情報を全戸に届ける主要な情報発信媒体である。平成29年のリニューアル以後、質を高めることで読者の定着と獲得を図ってきたほか、数々の広報コンテストで実績を重ねた。一方、情報取得手段の多様化や若年層の紙媒体離れが進み、幅広い世代へ確実に情報を届けることが課題となっている。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ ・市民の情報ニーズや属性を把握し、伝えたい情報と結びつけた紙面づくりを進める必要がある。 ・加えて、一方向の情報発信にとどまらず、市民の声を受け取り紙面や市政に反映する双方向の仕組みづくりが課題である。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 広報ふくちやまのコンセプトは「このまちを、もっと好きになる」。市政情報をお知らせし理解や協力を得るほか、行政からの一方的な情報提供にとどまらず、市民生活の様子や、地域づくりに積極的に取り組んでいる団体・個人などにもスポットを当てて掲載し、アンケートなどで市民の声を受け取り、紙面や市政に反映する仕組みを整えることで、市民が「知る・考える・参加する」きっかけをつくり、市民参加の機会を増やす。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・紙面の企画構成、取材、撮影、記事執筆、デザイン、校正 ・毎月１回約32,600部を発行し、市内配布 ・広報紙のデジタル配信 ・アンケート分析、研修参加、先進事例の研究

対象者	市民・不特定多数の人々	対象者数	75,000	単位あたりコスト	0.3	
実施方法	☑ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）					
委託先・実施主体等	—					

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
需用費	15,371	広報ふくちやま発行経費ほか			
役務費	135	広報ふくちやま関係機関への郵送経費ほか			

Ⅲ 予算執行状況

区分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	16,795	18,834	18,956	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
小計（①～③）		16,795	18,834	18,956	
予算財源内訳	① 一般財源	16,267	18,306	18,028	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	528	528	928	
決算情報	① 流充用額	△ 143	△ 779		
	② 配当予算	16,652	18,055		
	③ 執行額	15,777	15,506		
	④ 執行率	94.7%	85.9%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	0.80 / 0.10	1.03 / 0.49	/	/
	② 概算人件費	6,680	9,612		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		22,457	25,118		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
	広報誌等広告収入（秘書広報課）	雑入	625	41	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	件	469	567	572	734		
	広報ふくちやま読者アンケートの回答数	目標値		500	500	500	500	700	
		達成度	%	94%	113%	114%	147%	0%	
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	回	14	14	12	12		
	発行回数	当初見込		14	14	12	12	12	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	特集の企画立案、取材対象への取材、他部署からの記事の収集、記事執筆、編集、デザイン、校正、印刷会社への発注など								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	○評価：読者アンケートの回答数は令和4年度469件から令和7年度734件へと増加（157%）し、広報紙への市民の関心の高まりを裏付けている。アンケートからは、市民が広報ふくちやまから市政情報を入手し、具体的な行動を起こしていることがわかる。 また、京都府内の広報賞で広報紙 市の部が6年連続で府内1位となるなど、数々の受賞を通じて誌面の質が客観的にも高く評価されており、読者の定着と新たな読者の獲得の一因となっている。 ・京都広報賞　R2～R7 広報紙 市の部：知事賞（府内1位）、R1～R7 写真の部：知事賞（府内1位） ・近畿市町村広報紙コンクール　R5～6 最優秀賞、R7 優秀賞3席 ・全国広報コンクール　R6 広報紙 市の部：入選、R8一枚写真の部入選、広報企画入選（広報紙の取り組み含む） ○課題：読者層は高年齢に偏っており、市民アンケート（R6・無作為抽出3,000人のうち889人が回答）では、広報紙を読んでいないと回答したのは10代が76%、20代が51%、30代が24%で、40代以降は15%以下となっている。
現状の課題に対する改善策	令和8年度から「広報ふくちやま発行事業」と「ホームページ運営事業」を統合し、「広報ふくちやま・ホームページ事業」とする。 ○紙媒体の質の向上：市民参加型コーナーの充実など共創の視点を取り入れ、読者の関心と満足度を高める紙面づくりを進める。 ○紙面編成の見直しによるページ数の適正化とコスト抑制：誌面構成を再点検してページ数を適正化し、情報伝達の効率化とコスト抑制の両立を図る。 ○デジタル配信の展開・強化と双方向性の向上：LINE等を活用した配信を強化し、スマートフォンで情報を入手する環境を整備する。あわせて、デジタル上でのアンケートや市民参加型企画を強化し、デジタルを入口とした双方向のコミュニケーションを高める。紙媒体を補完しつつ、若年層を含む多様な世代への情報到達と市民参加を促進する。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	広報広聴戦略推進事業							事業コード	020102820109		
政策体系	基本政策	1 市民一人ひとりが、まちづくりの担い手となり、ほどよい力加減で助け合うまち				政策目標	1 協働・共創のまちづくり基盤の整備				
	施 策 名	1 地域組織や地域活動の活性化						施策コード	111		
事業担当	所属	030200 市長公室秘書広報課				所属長	小林 智恵美				
会計情報	款	02総務費	項	01総務管理費	目	02文書広報費	会計	01 一般会計	決算附属資料	63・64	頁
計画期間	開始年度	昭和63年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	—			R8現在の状況	継続中	
根拠法令等	—										
事業区分	☐ 法定受託事務	☑ 国府補助事業	☑ 市単独事業	☐ 内部庶務的事業	☐ その他 （ ）						
関連事業	—										

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 ICTの進展に伴い加速化する情報社会の中で、市民の情報入手に関する行動は大きく変化しており、ニーズも多様化している。そのような中、市政に関わる情報について、市民にわかりやすく説明するとともに、双方向のコミュニケーションへとシフトし、情報共有を図ることが求められている。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 社会経済状況が急速に変化するなかで、多様化する市民ニーズや複雑化・深刻化する地域課題に対応していくため、市が施策や事業を立案し、実施していくにあたって踏まえた事実などを含め、市民と市が情報を共有し、共通意識を持ち、協働したまちづくりを進める必要がある。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 効果的・効率的な広報・広聴に取り組むことで、市民の市政への関心や理解を深め、協働のまちづくりにつなげる。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 令和6年度の福知山市広報戦略検討委員会による提言書に沿った広報広聴アクションプランを実行した。 〇新たに、市公式LINEリニューアル、市政動画『明智さんのシセイカツ』21本制作・配信、市政モニターへの意見聴取を行う 〇広報紙など既存メディアでの市民との双方向性を強化。市民のエピソードを募集し特集に掲載・Instagramフォロワーの参加型企画(8月号)、本市初の参加型表紙(5月号)、大学生との広報紙制作（12月号）など 〇各部署への戦略的な広報支援強化。障害者福祉課による手話動画制作、市長定例記者会見、随時の記者レクチャー、広報資料など 〇市公式HPお問合せメール、市庁舎内「声の箱」の管理

対象者	市民・不特定多数の人々	対象者数	75,000	単位あたりコスト	0.4	
実施方法	☑ 直接実施	☑ 業務委託	☐ 指定管理	☐ 補助金交付	☐ その他 （ ）	
委託先・実施主体等	（株）北星社 福知山支店					

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
報償費	218	ホームページ研修 講師謝礼 ほか	備品購入費	269	SNS運営及び画像・動画編集作業用スマートフォンの新規購入
旅費	124	第62回 全国広報広聴研究大会研修旅費ほか			
需用費	1,018	PRTIMES利用ライセンス年間契約プラン ほか			
役務費	1,445	京都FM丹波放送㈱による「市政情報」放送業務 ほか			
委託料	2,530	福知山市政情報の動画制作・発信業務			
使用料及び賃借料	7,095	福知山市公式LINE機能拡張・運用業務			

Ⅲ 予算執行状況

区 分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	1,554	13,342	4,861	0
	② 補正予算	2,819	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
	小計（①～③）	4,373	13,342	4,861	
予算財源内訳	① 一般財源	4,373	1,392	153	
	② 国支出金	0	5,709	2,354	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	0	6,241	2,354	
決算情報	① 流充用額	0	△ 16		
	② 配当予算	4,373	13,326		
	③ 執行額	3,475	12,699		
	④ 執行率	79.5%	95.3%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	0.90 / 0.30	1.93 / 0.40	/	/
	② 概算人件費	8,040	16,560		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		11,515	29,259		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
	広報広聴戦略推進事業(新しい地方経済・生活環境創生交付金)	総務費国庫補助金	6,087	15	
	広報広聴戦略推進事業基金繰入(ふるさと納税基金)	基金繰入金	6,087	39	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	人	12,574	13,132	13,631	5,994		
	LINEの友だち数	目標値		11,000	12,000	13,000	15,000	15,000	
		達成度	%	114%	109%	105%	40%		
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	件	0	0	7	21		
	広報戦略検討委員会からの提言の方向性に基づく広報広聴の取り組み数	当初見込		0	0	0	18	20	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	令和7年度は、予算化されたLINEリニューアル、全21話の動画『明智さんのシセイカツ』の配信開始、市政モニター115人に4回のアンケートを実施するなど、広報広聴を強化する取り組みを行った。予算外でも広報誌を用いた市民参加型の企画を多数行い、職員アクションプランを実現可能なことから実行した。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	【必要性・有効性】広報戦略検討委員会の提言に基づき、広報広聴の強化を進めている。 ・令和7年度の主な取り組み：　市政情報の動画を制作し、『明智さんのシセイカツ』として配信　／　LINEをリニューアルし、ごみ収集日リマインド、週刊こどもNEWS、AIチャットボットの3機能を開始。日々の配信メッセージのデザインも強化　／　市政モニターに115人を任命し市民からの意見を聞く場を設定 ・取り組みへの評価：　動画では市政モニターの81%が「該当施策に興味・関心を持った」、73%が「市長や職員の顔が見える広報が進んでいる」と回答。市政への興味関心の向上、顔の見える広報の推進を実感できた。京都広報賞で知事賞(府内1位)受賞　／　市政モニター意見を事業の効果検証や改善に活用できた　／　R6～R7の一連の取り組みが全国広報コンクールの広報企画部門で入選するなど高い評価を受けた 【効率性】国庫補助金・ふるさと納税基金を活用し、限られた財源で多様な取り組みを行った。 ▶現状の課題　①LINE友だち数が、リニューアルに伴うアカウントの移行の影響で令和6年度から減少しており、早期回復が課題。②広報広聴にまつわる既存業務に新規業務が加わり、職員の広報広聴への意識・スキル向上へのアプローチなどにかける時間の確保が難しくなっている。生成AIの活用や業務の標準化、庁内外との連携により、効率的・持続的に全庁の広報広聴力を高める仕組みづくりが必要である。
現状の課題に対する改善策	①(1)LINEに実装する機能を拡充し、アカウントの魅力を高める。　(2)広報紙や転入受付窓口など、多様な媒体・場面で登録を促進する。 ②(1)広報資料を、従来の広報カードからニュースリリースに一新し、生成AIプロンプトの活用を標準化する。市内の民間媒体にも配信して、更なる記事掲載を狙うとともに、地域団体・事業者等からの広報資料もオンラインで受け付け、市の広報資料とあわせて配信する。 (2)庁内向け広報コラムを開始し、広報資料執筆の注意点やAI活用事例などを紹介・一覧化して、職員の広報広聴力を高める。 (3)各課の広報担当者との連携を強化し、広報研修の実施やチャットグループ運用を通して、好事例を学び合う。 (4)多様な主体との連携の一環として、広報紙のイベント記事の執筆を福知山公立大学生に委託し、大学生をハブとした広報を試行する。 (5)業務全般で生成AIを最大限活用するとともに、広報戦略検討委員会からの提言などをもとに重点化・省力化を進め、生み出した余力を新規・強化業務に振り分ける。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	地区公民館育成事業						事業コード	100502630225		
政策体系	基本政策	1 市民一人ひとりが、まちづくりの担い手となり、ほどよい力加減で助け合うまち			政策目標	1 協働・共創のまちづくり基盤の整備				
	施 策 名	1 地域組織や地域活動の活性化					施策コード	111		
事業担当	所属	600300 教育委員会生涯学習課			所属長	西村 憲二				
会計情報	款	10教育費	項	05社会教育費	目	02公民館費	会計	01 一般会計	決算附属資料	212 頁
計画期間	開始年度	平成18年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	—			R8現在の状況	継続中
根拠法令等	社会教育法									
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）									
関連事業	各地域公民館一般管理事業、中央公民館及び地域公民館事業									

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 地域コミュニティの維持継続に向けた活動ができるように、福知山市公民館連絡協議会、各地域公民館とも連携し、各地区の課題解決に向けて支援を行う。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 地区公民館を運営する館長・主事などの役員の人員確保
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 地域の特性、特色を活かしながら住民ニーズにあう生涯学習活動を通じた人づくり、明るい地域づくりを目指す地区公民館活動を支援し、地域の振興を目指す。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・「公民館活動のしおり」発行（各地域・地区公民館の1年間の活動をまとめた冊子） ・地区公民館事業負担金：各地区公民館が行う生涯学習活動に対し、支援を行う。 ・地区公民館長・主事への報償

対象者	地区公民館	対象者数	25	単位あたりコスト	448.0	
実施方法	☑ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）					
委託先・実施主体等	「負担金」福知山市公民館連絡協議会、地区公民館25館、昭和地区福祉推進協議会 「分担金」京都府公民館連絡協議会					

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
報償費	4,350	地区公民館館長・主事　報償費			
需用費	51	消耗品費（賞状額等）、印刷製本費（公民館活動のしおり等）			
役務費	14	郵送料			
負担金補助及び交付金	5,505	地区公民館事業負担金、京都府公民館連絡協議会分担金			

Ⅲ 予算執行状況

区　分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	10,141	10,063	9,165	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
小計（①～③）		10,141	10,063	9,165	
予算財源内訳	① 一般財源	10,141	10,063	9,165	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	0	0	0	
決算情報	① 流充用額	19	0		
	② 配当予算	10,160	10,063		
	③ 執行額	10,088	9,920		
	④ 執行率	99.3%	98.6%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	0.42 / 0.00	0.16 / 0.00	/	/
	② 概算人件費	3,360	1,280		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		13,448	11,200		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称		種類		実績金額		決算附属資料		頁

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	回	148	237	246	231		
	地区公民館活動数	目標値		280	200	240	240	240	
		達成度	%	53%	119%	103%	96%		
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	館	26	25	25	25		
	地区公民館への活動支援数	当初見込		26	25	25	25	25	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	地区公民館事業負担金の交付								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること ・各地区公民館館長・主事と各市立地域公民館で構成する「福知山市公民館連絡協議会」が全体会議（館長、主事会）を開催し、コミュニティ活動や地域課題解決に向けての取組み等について、意見交換を行った。 ・地区公民館組織は現代的な課題や地区の課題解決に取り組める人材育成や活力ある地区コミュニティ作りを推進していくために重要な役割を担うと考えられ、公民館組織体制の充実が大切である。 ・各地区公民館で様々な生涯学習活動が実施されているが、急速な少子・高齢化などにより若者の参加者が減少している。より魅力的な生涯学習活動の実施が求められる。また、地区公民館を運営する館長・主事などの役員の人員確保が困難な状況である。
現状の課題に対する改善策	・地域コミュニティの維持継続に向けた活動ができるように、公民館連絡協議会、各地域公民館とも連携し、各地区の課題解決に向けて支援を行っていく。 ・令和8年度に開催される京都府公民館研修会等に参加し、生涯学習の振興や地域づくりに向けた公民館活動の推進について支援を行っていく。 ・令和5年度に、新型コロナウイルス感染症法上の位置づけが2類から5類へ移行となり、多くの地区で公民館活動が再開され、公民館活動数が目標値を上回った。そのため、「成果実績」の「地区公民館活動数」を令和7年度・令和8年度・最終目標値を240に変更する。